京山作
清峯画
女かぶき神入
全六冊
中之春九甚
へ13
2070

女鳴神後編

山東京山作

烏居清峯画

女鳴神後編三冊

作者曰

江戸町壹丁目
玉屋弥八内

「そりゃア
まさしく
小町の
なんざく
モウ
くんじゃ
なり
ゆえ
九

山東
移翅雙翔
大有情菜
花叢裏往
来輕當財
呂羨勝王
巧一段風
流画不成
石咏蝶
京水録
源

菜花や
蝶ゝ
蝶ゝ
楚
漆仙
保画

いのしゝの三人づま

山東京山述

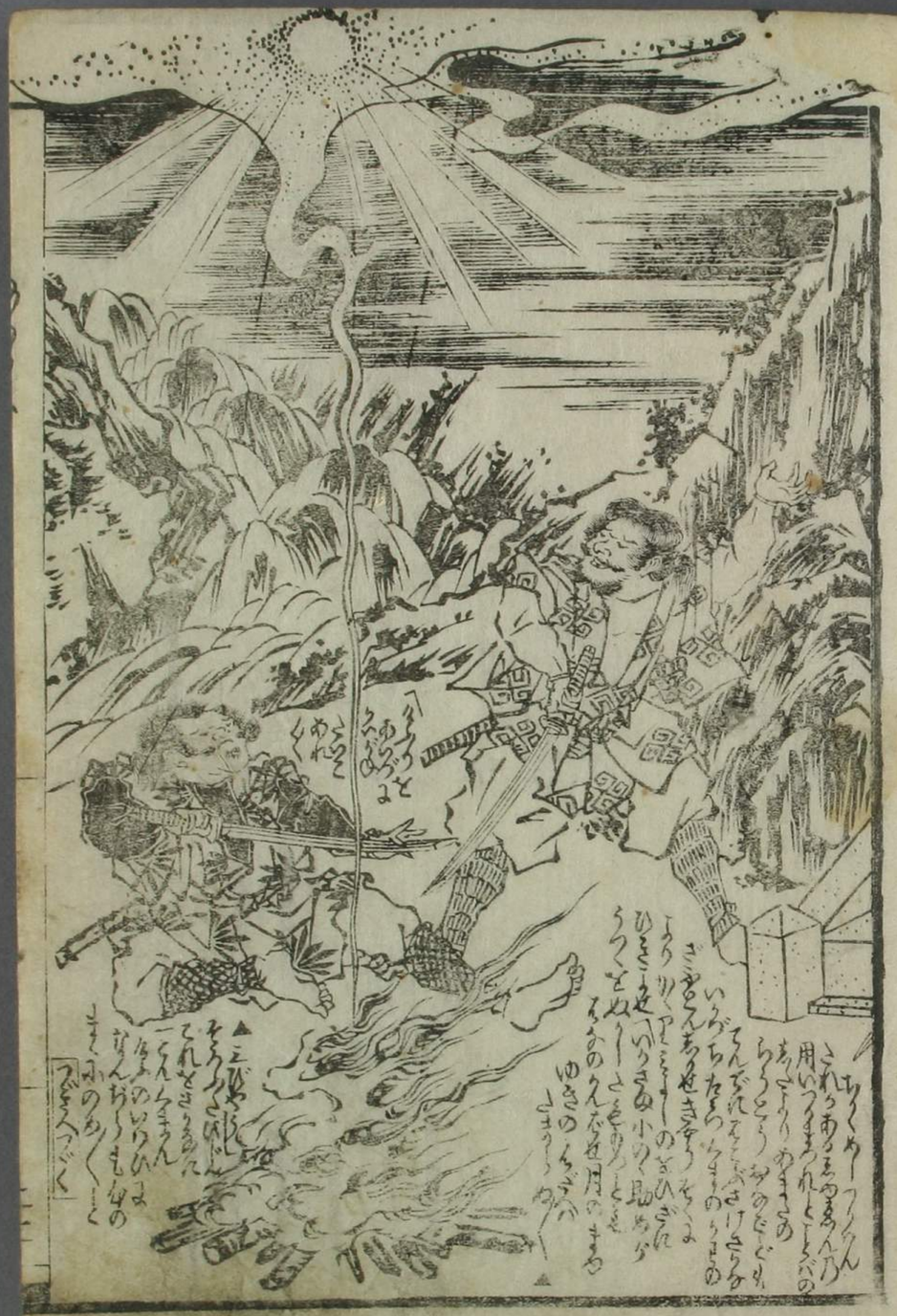
そふまさ丹下様戸ちハ法成
たちのに小のく女が出へたづね
るゞゆ山村の白拍とよぶのゝ
みゝ　せが四ろときゝゆゝや
かゝるまのびるゝもたゝり
ゞしとふゝふゝふゝれ白拍ゝゝ
たゞゆきゝろゞゞゝ四ハ出ゞる
あゝちと用ゝゆあてまゝゝゝ
ゆゝそゆけてゞさんとまゞの
戸ゆゞを打たけバ内ゆゝ
ゝし拍ゝゝ女ゝたのまゝゝ
小のゝ女とよひゝそゝる
ゆゝかけんとゆゝゞ
あゝゞ一用ゆゝゞを
ゞ一丹下ゞかゞゝ
打たくゝかも
つゝゝまゝゆの
ゆゆ丹下ハ打ゆ
打たくゝけ
ゞゆゝゞれゞ
あゝるかゞゝ

次へつゞく

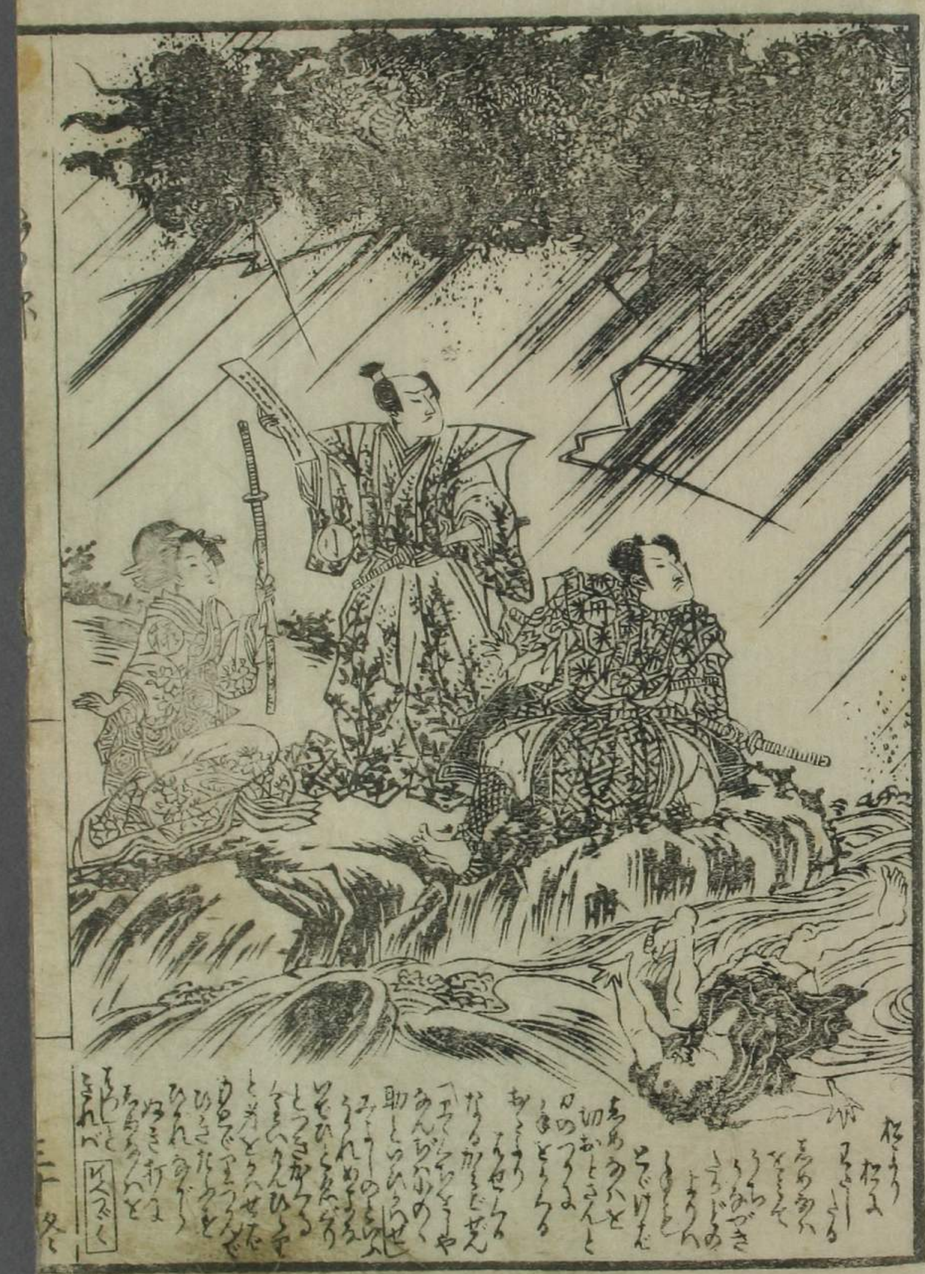
冊
松

小
み
梅

そのころのいとやうくしくみえれどもこのくに助
さまのお世話をしたとのことでいきんてんのの
ちゝとしのあのことをしてこうぶんせんてんたるわり
小のゝみさまの小の小町ぶりのあるうんてくれし
いるまいまてくゆめぞうてこうてこうてこうの
ゆくべくしのこのおやうねりはるとうんたんぶ
ゆうよおとうなてひとくよ様ぐんもこうきみさまと
さくまんぐんめぞたきこうぎきみさまと
さくもあるを丹りがうとうびてんうんつけそ
様とぶ「あまくのまくぶそくぶきこうに松
どのいちぶんかつきこうりのありう
もるくくこうりゆうこうきこうたのこうま
みくこうりぶのこうぶいれこうこうこうこうまこ
むこうこうやうこうれこうきやこうこうこうあまくハ
おのゝやんぐこうびんぐくこうぐきんせ
へ小めこう助のこうぎこうこうこうのこうせんこうこうこうた
見松ぐまんてこうんぶぐんあまこうあり
今日こうう月ぐこうんぶこうこうこうこう



鳴神
御前



文化九申春新版絵双紙目録

籠釣瓶丹前八橋　全六冊　山東京傳作　鳥居清峯画

緑青れ鼠朱塗り鶴繪看版　全八冊　山東京傳作　鳥居清峯画

女鳴神名歌短冊　全六冊　山東京山作　鳥居清峯画

番神袖鹿に舞　振袖千鳥に蝶　虎雨大磯　全六冊　山東京山作　草鴨出来嗣出

頃城梅枝　竹服屋源太　鴛姫　相宿　全三冊　東西庵南北作　爲川春扇画

牛御前東名前　班女前美の古跡　隅田系譜　梅若詣　全三冊　緑亭可山作　勝川春扇画

右出板の分の外にて麦出シ相ゝぐでも許判仕水ゞ遊ゝ

地本江戸神田明神前　壽堂　甚八

清稿數冊

孫心

文化九年

壽[illegible]